

令和3年度環境とやま県民会議 事業計画（案）

1 統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から地球温暖化をはじめとする地球的規模の問題に至るまで様々な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、環境について学び、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、少ない資源、少ないエネルギーで生活する循環型社会と低炭素社会づくりを目指して行動していくことが求められている。こうした中、エコライフの実践を促進するため、普及啓発資材の製作・購入により、県民への普及啓発を図るとともに、当県民会議では、引き続き統一活動として「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大を図るとともに、とやま環境フェアなど各種イベントを開催し、県民のエコライフの定着・拡大を呼びかけることとする。

また、当県民会議では、「循環型社会と低炭素社会づくりの推進」と「環境教育・環境保全活動の推進」を事業の柱とし、これらを中心として、県民、企業、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって事業を展開するものとする。

2 事業内容

(1) 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

<循環型社会づくり>

① とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 とやまエコ・ストア制度登録事業者が県民と協働で行う環境配慮行動を促進するとともに、新たに「エコ・ストア」としてレジ袋無料配布廃止等に取り組む事業者を引き続き募集・登録し、その活動を支援するなど、「とやまエコ・ストア制度」のさらなる普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を推進する。

② プラスチック容器削減・転換推進事業（ノートレイ等の推進）

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県
- ・内 容 プラスチックの排出抑制を図るため、日常生活で多く排出される食品トレイについて、スーパー等におけるノートレイや紙トレイなどへの転換を目指す。

③ 家庭系食品ロス削減対策事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 本県の食品ロスの課題である「手付かず食品」の削減に向けて、家庭の未利用食品を福祉団体等へ寄付するフードドライブについて、市町村・関係団体などに実施を呼びかけ、リレー形式で展開するほか、回収する食品の種類を限定した簡単な「お試し版フードドライブ」の開催支援、スーパーと連携

して効率的な運営の実証実験を実施し、取組みの拡大を図る。

また、家庭で余っている食材を持ち寄って料理するサルベージ・パーティについて、本県が認定したサルベージ・サポーター（講師）と開催を希望する団体等とのマッチングを行う。

④いつでも、どこでもリサイクル促進事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 民間事業者等による資源物の回収拠点を認定し、住民に啓発することで、資源物回収量のさらなる増加を促進し、再生利用率の向上を図る。

⑤使い捨てプラスチック削減促進事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 化石資源由来の使い捨てプラスチック容器からバイオマスプラスチックへの素材転換を促進するため、食料品製造業や小売業等の事業者によるバイオマス由来の原料を使用した代替品の導入に対して補助を実施する。

⑥とやま環境フェアの開催

- ・主 催 とやま環境フェア2021開催委員会
- ・実施時期 令和3年10月1日(金)～31日(日)ウェブ開催予定【3R推進月間】
- ・内 容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・低炭素・自然共生をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全活動の啓発を行う。

また、環境とやま県民会議のブース出展を実施する。

⑦ごみゼロ推進県民大会の開催

- ・主 催 環境とやま県民会議、富山県
- ・実施時期 令和3年10月1日(金)～31日(日)（とやま環境フェア2021と併催）
- ・内 容 廃棄物の減量化やリサイクルの推進に関する関係者の理解を深め、ごみゼロ社会への取組みを推進するため、功労者の取組み等を、とやま環境フェア2021（ウェブ）で紹介する。

<低炭素社会づくり>

①エコドライブ推進運動の実施

(ア)エコドライブの推進

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 令和3年4月～令和4年3月
- ・内 容 二酸化炭素排出量の削減だけでなく、燃費向上や交通安全にもつながるエコドライブについて継続した実践を促すため、各種イベント等において普及啓発を行う。

併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言

に協力し、エコドライブ実践者の拡充を図る。

(イ)エコドライブ実践促進事業

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 随時
- ・内 容 気軽にエコドライブを体験できる機会を提供するため、とやま環境フェア会場において、仮想的にエコドライブを体験できるシミュレーターを用いた体験会を開催するなど、エコドライブの一層の定着・拡大を推進する。

②「新しい生活様式」を踏まえた公共交通利用をテーマとした県民運動への参加

- ・主 催 富山県公共交通利用促進協議会
- ・内 容 鉄軌道の施設整備及びバス路線の運航維持等を支援するなど、公共交通の維持活性化・利用促進に向けた取り組みを推進する。

③「COOL CHOICE」の普及促進

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・内 容 環境イベント等を通じて、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択などの普及啓発を行い、地球温暖化対策に資する国が展開している国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」の拡大・定着を図る。

④クールビズ、ウォームビズの実践及び啓発

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
- ・開催時期 夏季、冬季
- ・内 容 夏のオフィスのエアコン設定温度を28℃とし、涼しく快適に過ごすために軽装（クールビズ）を実践する。また、冬のオフィスのエアコン設定温度を20℃とし、暖房に頼りすぎず、快適に過ごすビジネススタイル（ウォームビズ）を実践する。

⑤エコアクション21推進事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団（エコアクション21地域事務局）
- ・実施時期 令和3年4月～令和4年3月
- ・内 容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」制度の普及を図るとともに、「エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、事業者の認証・登録を促進し、持続可能な社会づくりを図る。

(2)環境教育・環境保全活動の推進

①エコライフ・イベントの実施

- ・主 催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに関する、「エコライフ・イベント」を実施する。また、構成団体ではブース出展等に積極的に参加し、エコライフの普及を図る。

②環境保全・環境教育に関する活動支援事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談に対応するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じた情報発信や交流会を開催し、環境保全・環境教育活動の拡大を図る。また、新たにエコライフの実践を促進するための普及啓発資材の製作・購入等により活動支援の充実を図る。

③とやま環境未来チャレンジ事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 10歳の児童が家族とともに10項目の地球温暖化対策に取り組む「とやま環境チャレンジ10事業」に、3Rの推進や食品ロスの削減などの内容を追加し、児童と家族の環境保全意識の高揚及びエコライフの定着を図る。

④スターウォッチング推進事業

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・開催時期 令和3年8月頃
- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気や街の明かりによる光害について理解を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践を推進するため、星空観察会を開催する。

⑤はじめてのエコライフ教室の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 幼児期から(家族ぐるみで)エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的として、幼稚園・保育所等に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施する。